


平成 19年 11月 19日

浜田市議会議長 牛尾 昭 様

議員名 鎌原 ヤシ江 

調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため視察を行ったので、その結果を報告します。

記

1、期 間 平成 19年 11月 16日 ~ 11月 16日。

2、視察地 浜田市広島PRセンター

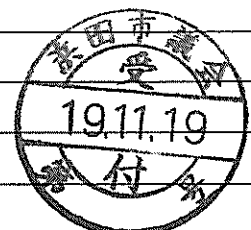
3、参加議員氏名

鎌原 ヤシ江	印・	印
-----	印・	印
-----	印・	印
-----	印・	印
-----	印・	印

4、精算額 一人当たり 5,200 円

5、調査活動の概要

別紙のとおり報告いたします。



《調査概要》

視察先 広島市中区基町
浜田市「広島PRセンター」

「広島PRセンター」は、平成11年に旧金城町で設置。合併後は新市に受け継がれた事業である。

広島100万都市との人的交流や経済、文化交流等が重要であるとの認識のもと、本市のPRをする拠点として、これからも利用活用し、地域の活性化になると期待できる。しかし、合併後の運営についてうまく機能できているのか今回、現地調査する。

1. 広島PRセンターの利用状況について

PRセンターを通じての広島から浜田市への利用状況は、平成16年度2,480人。平成17年度2,872人、平成18年度4,787人となっている。

今年度は、4月から9月現在、3163人である。

年々利用客も増加し、浜田市のPRにつながっていると感じる。

2. PRセンターと本所、支所との連携について

広島でのイベント等への出展、協力について情報を提供しても、なかなか返事が返ってこない時もあるという。今後、PRセンターと商工観光課、また地域との連携を強化し、本市のPRに努め、産業振興の推進を図るべきかと感じる。

3. 総括

広島市内の公民館等のイベントに本市から、神楽やもちつき、農産物の販売を積極的にを行い地元の子どもたちとの交流も進められている。

旧金城町時代からの熱心なファンも多くゴルフ場、温泉地、若生まなびや館に多くの広島市民が訪れている。

合併後は市全域を対象にPRされアクアス、千畳苑、お魚センター等を紹介し、観光客の斡旋や広島市内の公民館との交流には、所長一人では心身共に大変であると感じる。できれば臨時職員の雇用が必要である。

広島PRセンターの将来については、これからも継続して、浜田市のPRに努め、浜田市の活性化を進めていくべきと感じた。

以上 視察報告とする。